

平成31年度（令和元年度）

保育士・幼稚園教諭の
働きやすい職場づくり事業

実施報告書

セミナー報告編

株式会社サンロフト

令和元年度11月28日

働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● 企画立案

以下のように講演会を企画し、会場や講師の決定、集客や準備を進めていった。

開催日	2019年8月22日（木） 18：00～20：00 2019年8月23日（金） 10：00～12：00
開催場所	藤枝市文化センター 第2会議室 （静岡県藤枝市駅前2-1-5 054-641-1111） ・ 藤枝駅北口より徒歩約3分 ・ 市営駐車場も近くにあり交通至便
主催	藤枝市健康福祉部児童課
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 藤枝市内の幼稚園・保育園・こども園等で働いている保育者の皆さま ・ 藤枝市内または近隣にお住まいの潜在有資格者の皆さま ・ 保育の仕事に就きたいと考えている皆さま（学生ほか）
定員	100名
参加費	無料
テーマ	みんなでつくる！働きやすい保育職場づくりセミナー
目的・概要	本事業で開催したこれまでのセミナーは、保育者各自の意識や知識を高め、意欲を向上させることを目的としていた。最終年度にあたる今年度は、配布した手引書の内容をあらためて振り返りながら、働きやすい職場づくりに関する共通認識を整理する場とする。また、全国における職場改善の取り組みや他園の事例に学びながら、参加者同士が情報交換をする場を設けることにより、職場づくりに関する視野を広げ、多様な解決策を知る場としたい。そして、その後に実施する各園でのワークショップにおいて、各園に応じた実践を考えるきっかけとしたい。
プログラム	17:30～18:00（9:30～10:00） 30分 受付 18:00～18:05（10:00～10:05） 05分 開会・挨拶 児童課矢部課長 18:05～18:20（10:05～10:20） 15分 事業報告・事例発表 18:20～19:05（10:20～11:05） 45分 黒澤先生講義 19:05～19:50（11:05～11:50） 45分 ワークショップ 19:50～20:00（11:50～12:00） 10分 総評・アンケート記入・閉会
工夫点	託児スペース …会場内に託児スペースを設け、安心して受講いただく。 おやつ …リラックスして受講できるように、飴や飲み物を用意する。 駐車券配布 …駐車料金の負担がないように配慮する。

働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

講師

講師は本事業の監修者でもある黒澤先生に依頼した。進行は（株）サンロフトの鈴木が担当した。



黒澤祐介氏

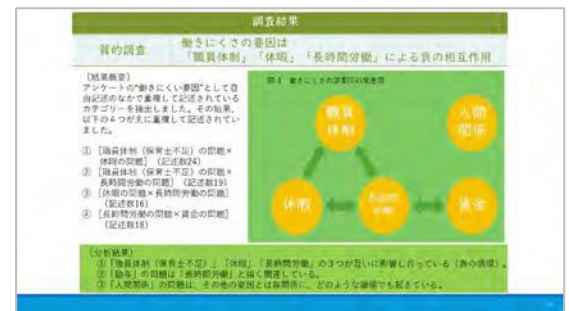
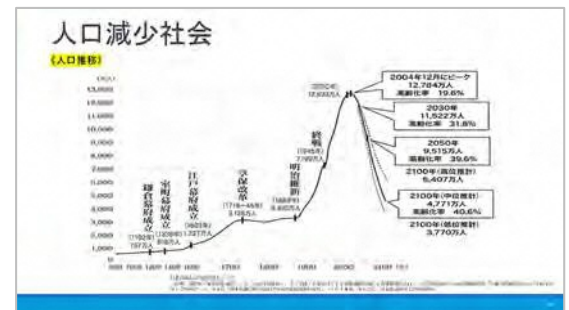
大阪青山大学 健康科学部 子ども教育学科 准教授

専門は社会福祉学、保育学。保育カンファレンスや保育者の同僚性の形成を研究している。

講演タイトル：「保育人材の確保にむけて」

講演内容

1. 保育人材を問い直す
2. 待機児童解消加速化プラン 保育士確保プラン
3. 人口減少社会
4. 保育者の働きやすさ 大阪での調査結果
5. 保育者の働き方改革
6. 藤枝市の取り組みの価値
7. 保育職場の人間関係
8. 保育者の早期離職の実態
9. 保育者間の人間関係の悩み
10. 保育者が仕事を辞める原因
11. 省察的実践の苦しさ
12. 保育者にとっての仲間の存在
13. 保育における人間関係づくりの意義
14. 保育カンファレンスのねらいとポイント



保育者が仕事をやめる原因

保育者をやめてしまうのは、「結婚」をのぞけば、決して子どもや保育が嫌になったわけではなく、職場の人間関係や自分自身の保育の力量に悩み、心や身体の調子を崩してしまうことが、大きな理由となっている。

特に、1年以内で退職してしまうケースに限っては、その傾向は顕著である。

このように、職場の人間関係の問題や、自分自身の保育の力量について悩んでしまうことが、保育者の早期の離職につながっていることがわかる。

若手保育者が育つ 保育カンファレンス一瞥みと願いに寄り添う園内研修ー

大切な若手保育者をもう「離職」させない!

働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

集客

以下の方法で、講演会への集客を実施した。

項目	実施内容	件数など
チラシ配布	県内大学・専門学校への案内郵送	17校×30部ずつ
enjobふじえだ登録者	メール配信	(児童課様からの送信)
enjobふじえだサイト	サイトでの告知	
個別案内	お付き合いのある園にチラシの個別配布・メール送付	20~30

藤枝市 保育士・幼稚園教諭の働きやすい職場づくり事業

保育士・幼稚園教諭・潜在有資格者・学生向け **参加費 無料**

みんなでつくる！働きやすい保育職場づくりセミナー

8/22(木) 18:00~20:00 (受付17:30~) **駐車券送呈**

8/23(金) 10:00~12:00 (受付9:30~) **駐車券送呈 託児あり**

会場 藤枝市文化センター 第2会議室
藤枝駅前2丁目1番5号 ※JR藤枝駅北口より徒歩3分

セミナー内容

- 働きやすい職場づくりの情報を共有する目的で、昨年度、先生方のご協力のもとに制作した手引書。この内容をあらためて振り返りながら、働きやすい職場づくりに関する共通認識を整理します。
- 大阪青山大学の黒澤先生をお招きし、保育職場の現状、社会的な背景や経営者視点で考える課題解決法、働き方改革の全国的な事例などをご教授いただきます。
- 他園の保育者とともに取り組むワークショップでは、職場づくりに関する視野を広げ、多様な解決策を知るができます。

講師 大阪青山大学 健康科学部 子ども教育学科 准教授 黒澤 祐介 先生

大阪保育研究所 保育士の働きやすさ研究会 代表。専門は社会福祉学、保育学。保育カンファレンスや保育者の同僚性の形成を研究しています。本事業の監修も務めています。

こんな方におすすめ！

現役保育者の皆さまは、黒澤先生や参加者との交流を通じて自園の職場づくりを主体的に考えることができます。

潜在有資格者の皆さまは、保育職場の「今」と、求人票ではわからない市内各園の職場づくりの取り組みを具体的に知るができます。

学生や保育の仕事に興味がある皆さまは、現役保育者の考え方や活動を知ることで、自分に合った園選びを考えることができます。

主催：藤枝市健康福祉部児童課

保育士・幼稚園教諭向けセミナー 主催：藤枝市 保育士・幼稚園教諭の働きやすい職場づくり事業

「みんなでつくる！働きやすい保育職場づくりセミナー」

本事業は最終年度を迎えました。今回のセミナーでは、参加者同士が情報交換をしながら、職場づくりに関する視野を広げ、多様な解決策を知る場を目指しています。学生や潜在有資格者も参加歓迎、よりよい保育職場を自分たちでイメージし、実現していくために、楽しく活発に交流しましょう。

日時 2019年8月22日(木) 18:00~20:30 (受付17:30~) **費用 無料** **定員 各50名**
2019年8月23日(金) 10:00~12:00 (受付9:30~)

会場 藤枝市文化センター 第2会議室
〒426-0034 静岡県藤枝市駅前2丁目1番5号
※JR藤枝駅北口より徒歩3分

対象

- 藤枝市内の幼稚園・保育園・こども園などで働いている保育者の皆さま
- 藤枝市内または近隣にお住まいの潜在有資格者の皆さま
- 保育者養成校に通う学生、保育の仕事に興味がある方

お申し込み <https://www.enjobfujieda.jp/> スマホの方はこちらから Webサイトから、または下記用紙にご記入の上、FAXにてご送信ください。

※受付後、メールもしくはFAXにて受講票をお送りいたしますので、ご連絡先を必ずご記入ください。

FAXお申し込み用紙 FAX: 054-626-3371

参加者名	参加日	<input type="checkbox"/> 8/22(木) 18:00~
		<input type="checkbox"/> 8/23(金) 10:00~
属性	<input type="checkbox"/> 保育者 <input type="checkbox"/> 潜在有資格者 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 保育の仕事に興味がある方	
園名/学校名		
受講票送付	<input type="checkbox"/> メール送付を希望 <input type="checkbox"/> FAX送付を希望 ※申し込み後、3日以上経過して受講票が届かない場合は、恐れ入りますがお電話またはおフォームにてご連絡ください。	
電話		FAX
メールアドレス		
駐車券希望	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ※希望者には市営駐車場の駐車券を差送いたします。	
託児希望	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (歳) (歳) (歳) ※託児料・ピスは8/23(金)のみとなります。ご了承ください。	

お申し込み先 事業委託先 株式会社サンロフト (担当: 鈴木) 電話受付時間 平日9:00~18:00
TEL: 054-626-3366 / FAX: 054-626-3371 <https://www.enjobfujieda.jp/> (お問い合わせフォーム)

個人情報の取り扱いについて
ご入力いただいた個人情報は、本セミナーの企画・実施にのみ使用させていただきます。また、お申し込みいただいた情報は、事務局にて保存させていただきます。個人情報を第三者に提供することはありません。お問い合わせ先: 054-626-3366

働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● 参加お申し込み・開催成果

申し込みは50名だったが、キャンセルが2名、当日参加が4名で、最終的に52名が参加した。

事前申込数	50名		
当日受付	キャンセル：2名 当日参加受付：4名		
参加者数	52名		
申込者・参加者 施設種別 (2日間計)	私立幼稚園	9園	11名
	私立認定こども園	3園	3名
	公立認可保育所	2園	3名
	私立認可保育所	10園	12名
	特定地域型保育事業所	17園	20名
	養成校	1校	1名
	不明		3名
	その他		1名
	計	42園	54名
申込者・参加者 属性	園経営者・園長		8名
	主任		10名
	現役保育者		33名
	学生		2名
	保育の仕事に興味がある方		1名
アンケート回収	52名/52名 (回収率 100%)		

働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● 8/22の様子



働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● 8/22の様子



働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● 8/23の様子



働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● 8/23の様子



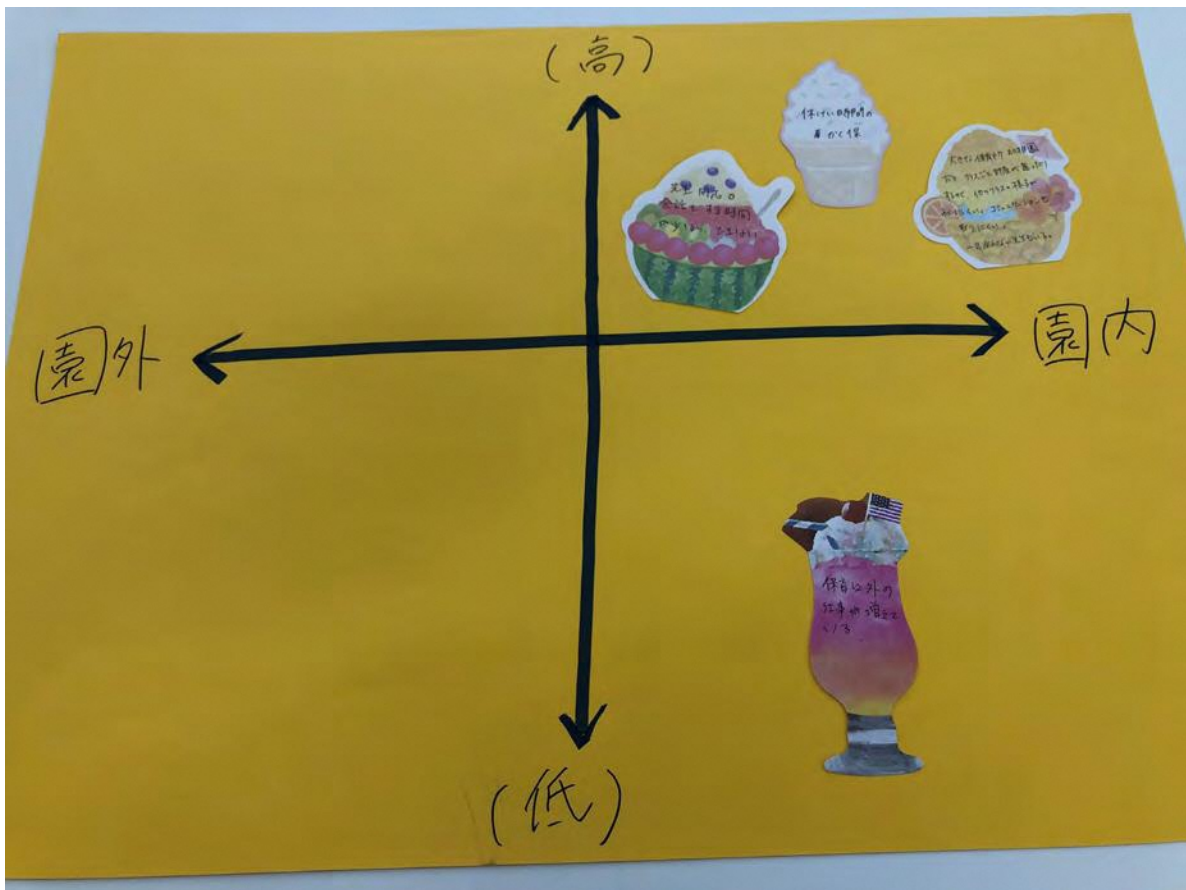
働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● ワークショップ成果物 (1)



働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● ワークショップ成果物 (2)



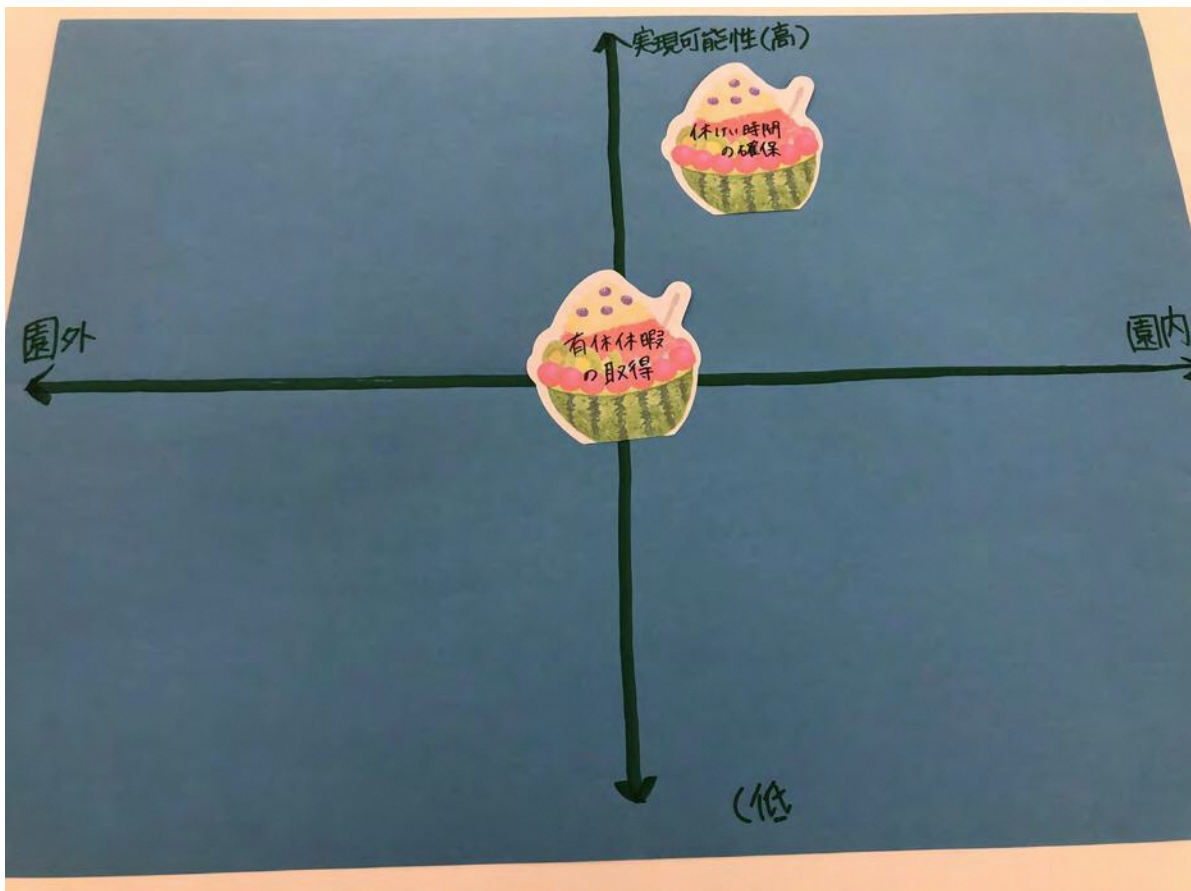
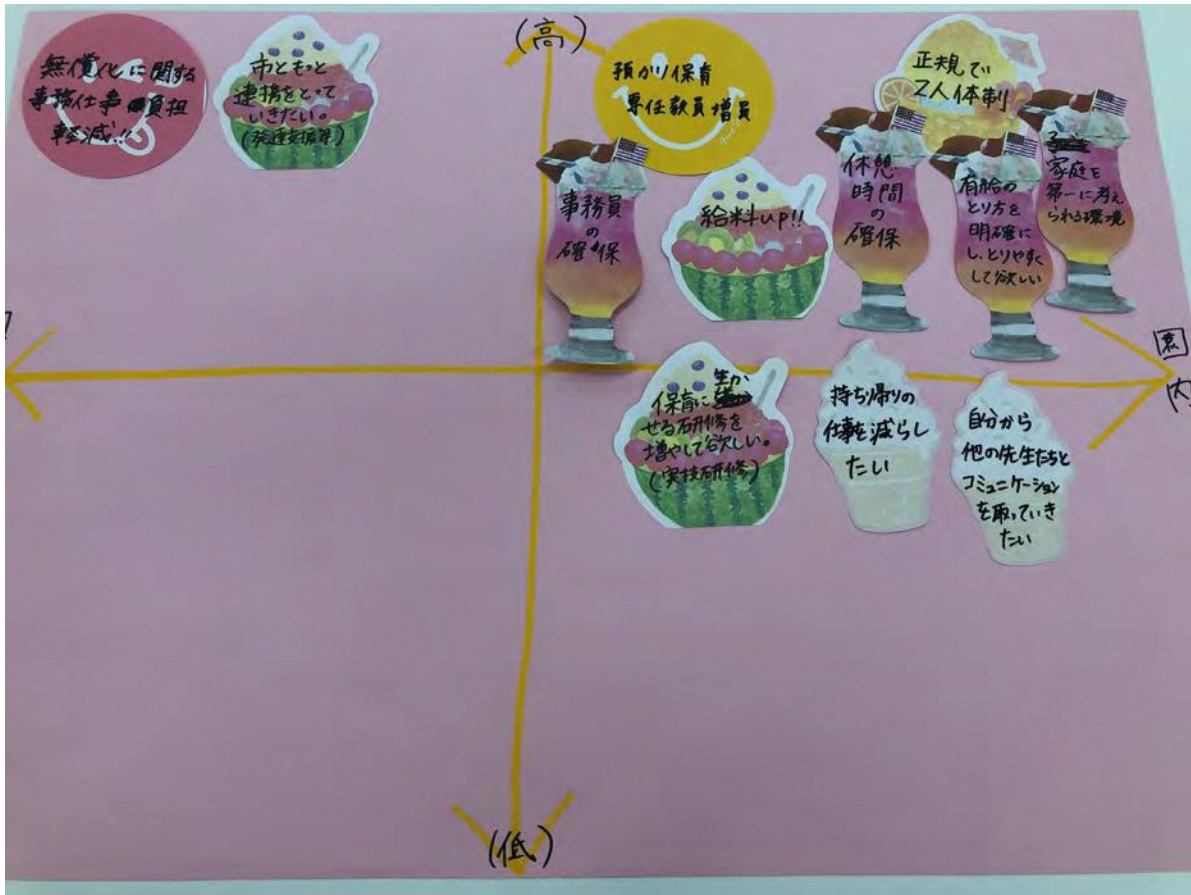
働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● ワークショップ成果物 (3)



働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● ワークショップ成果物（４）



働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● ワークショップ成果物（5）



働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● ワークショップ成果物（6） 各テーブルの意見を以下の図にまとめました。

実現可能性高/できるだけ早く実現したい

- ・ 研修会に土日出たときの有給休暇（代休）をとるために職員配置を整えるための補助金
- ・ 市ともっと連携をとっていききたい（発達支援等）
- ・ 無償化に関する事務仕事の負担軽減
- ・ 園児獲得のため競争的になりがちなので園児数に不足にならないようにしてほしい
- ・ 園児数が減り募集が難しい
- ・ 小規模保育園が多くできすぎている。保育士・園児の奪い合いが生じる。市のほうで数を規制してほしい
- ・ 保育園同士（小規模、幼稚園など）の話し合いの場を市が主催で行ってほしい
- ・ 発達障害の疑いがある園児への市との連携が薄い
- ・ 若手が保育についての悩みを聞けたりアドバイスを受けたりする機会を設ける
- ・ 定員いっぱい！経営が心配
- ・ 研修の充実
- ・ 自分のやりたいことを思い切り、時間を気にせずやりたい
- ・ 養護教諭の先生がいてくれると安心
- ・ 休憩時間を取りやすく
- ・ 皆が困っていることを解決したい
- ・ 園全体の生活、様子を知っていくこと
- ・ パート職員と正規職員の仕事の内容や量が同じところに不満が出る。考え方について
- ・ 事務的作業のシェア（パソコンでプログラムをつくるなど）
- ・ 男性保育士ならではのできること（メリット）の発見

- ・ 職員コミュニケーションをよくする（会話増やす）
- ・ 情報共有機会を増やす
- ・ 休憩時間を確保する
- ・ 壁面や行事の準備などを見直す、減らす
- ・ 書類の様式の見直し、書く量を減らしていく
- ・ 事務仕事の時間を確保する（職員平等に）
- ・ 若い先生の自発性、心の声を聞くフォロー
- ・ エアコンを増やす
- ・ すべてを個人の仕事にせず、協力して一緒に取り組む
- ・ 気軽に使えるバスを用意してほしい（運転手付き）
- ・ 余裕のある配置（有給休暇のとりやすさ）
- ・ 家庭との両立（賃金・時間）
- ・ 保育の主活動のレパートリーを増やしたい。
- ・ 保育士全体の意識を統一したい
- ・ 意見を言い合い、聞ける仲（若手・先輩関係なく）
- ・ 職員同士でお互いの良いところを伝え合う
- ・ 正規で2人体制
- ・ 有給休暇取得を明確にし、とりやすくする
- ・ 給料をアップする
- ・ 預かり保育専任教員増員、事務員の確保
- ・ 持ち帰りの仕事を減らしたい
- ・ 保育に活かせる研修を増やしてほしい（実技研修）
- ・ 勤務体制を整えたい（二人体制）
- ・ 各保育者の良さを褒める
- ・ 仕事の内容の見直し、効率化
- ・ ゆとり、自由時間のある園生活
- ・ 各職域の職員との連携がとりやすい
- ・ 意見の出やすい雰囲気づくり
- ・ 得意・不得意な点を活かせる職場（制作・ピアノ）
- ・ グループワークなどで人間関係の向上につとめる

園外

園内

(行政)
(専門家)
(地域)
(保護者)

- ・ 代休をとれるようにする
- ・ 給料アップのための補助金
- ・ 人が足りない 余裕のある配置
- ・ 週休2日
- ・ 小規模の満三歳も無償化してほしい。年度末まで保育を継続したいとう保育士の想いを大切にしたい。
- ・ 保育後の時間の使い方の見直し
- ・ 仕事量・責任の重さに対しての報酬
- ・ 園児獲得
- ・ 入所児の人数をバランスよくいれてほしい
- ・ 職員の増員
- ・ 保育者の子どもの預け先について
- ・ 仕事を始める時間はきっちりしているが、終わる時間が曖昧である

- ・ 保育以外の仕事時間確保、または削減
- ・ 紙の書類→パソコン活用
- ・ 休みを気軽にとれるようにする
- ・ 職員を増やす
- ・ 副主任をフリーにする
- ・ 公休を増やす、休みの希望が通る
- ・ 気軽に意見が言えるミーティングをやりたい
- ・ 認め合う機会を作る
- ・ 会議を見直したい
- ・ 参観休暇、病気休暇が欲しい
- ・ シフト調整が楽になるような人材確保（有給休暇等を取りやすくなる）
- ・ 仕事量の調整（書類、行事準備）、残業を減らす
- ・ もっと自由に保育したい。見守って
- ・ 有給休暇をとりやすく、時間休もほしい
- ・ 園長の保育ビジョンをもっと聞いて、みんなで共通理解をし、同じ方向を向いて進む。
- ・ 他園との関わりが持てる機会が欲しい
- ・ 子どもも保育者も快適に過ごせる環境でいたい
- ・ 生活、仕事がしやすい環境づくり（掃除、広さ、エアコン）
- ・ 先生同士の否定的な意見を耳にしたくない（学生の声）

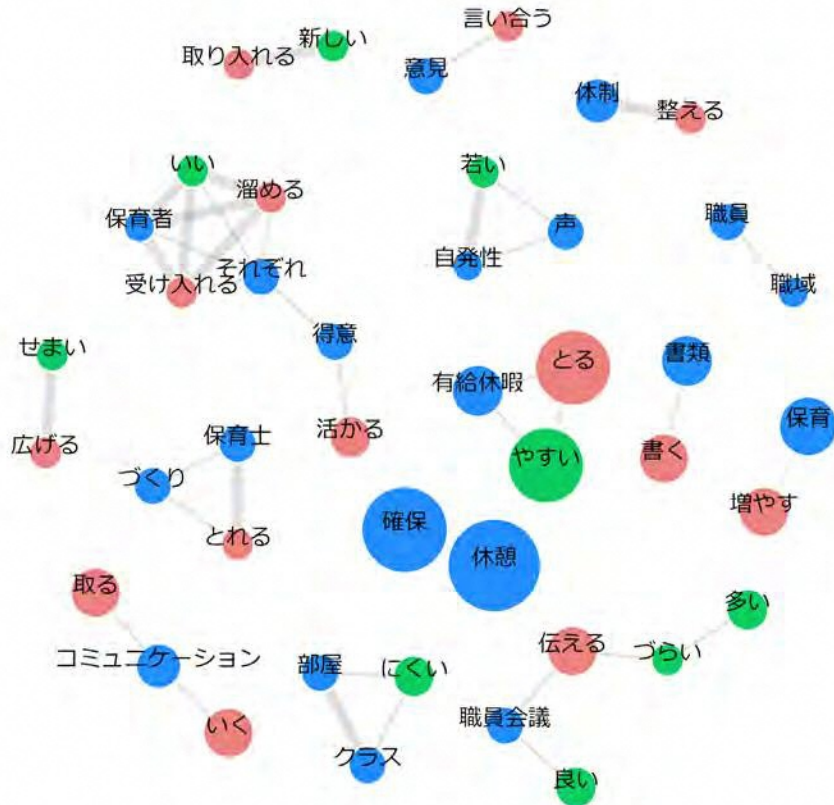
実現可能性低/いつかは実現したい

働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

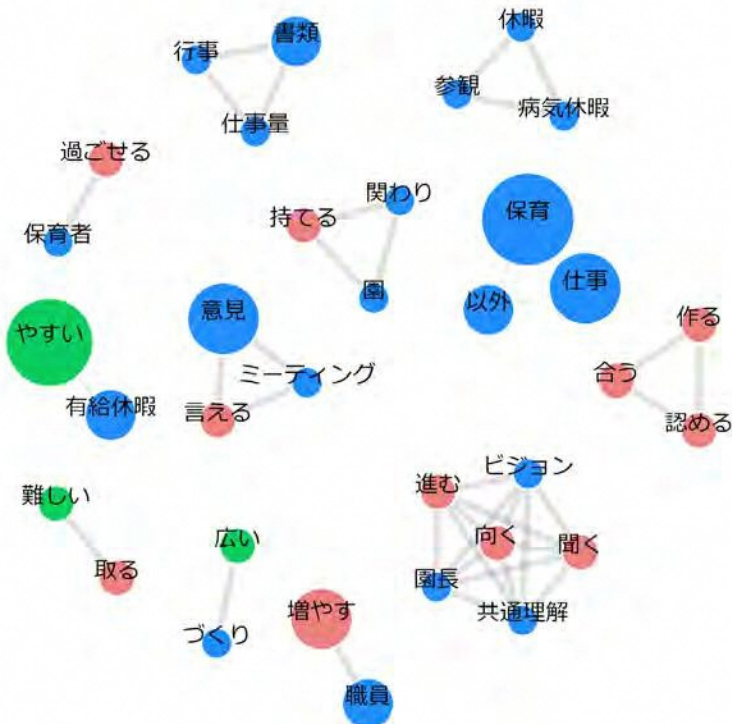
● ワークショップ成果物（7）

テキストマイニングツールで「共起（一緒に使われる言葉）」を分析した結果は次のようになった。文章中に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図で、出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画される。

園内で早く実現したいこと

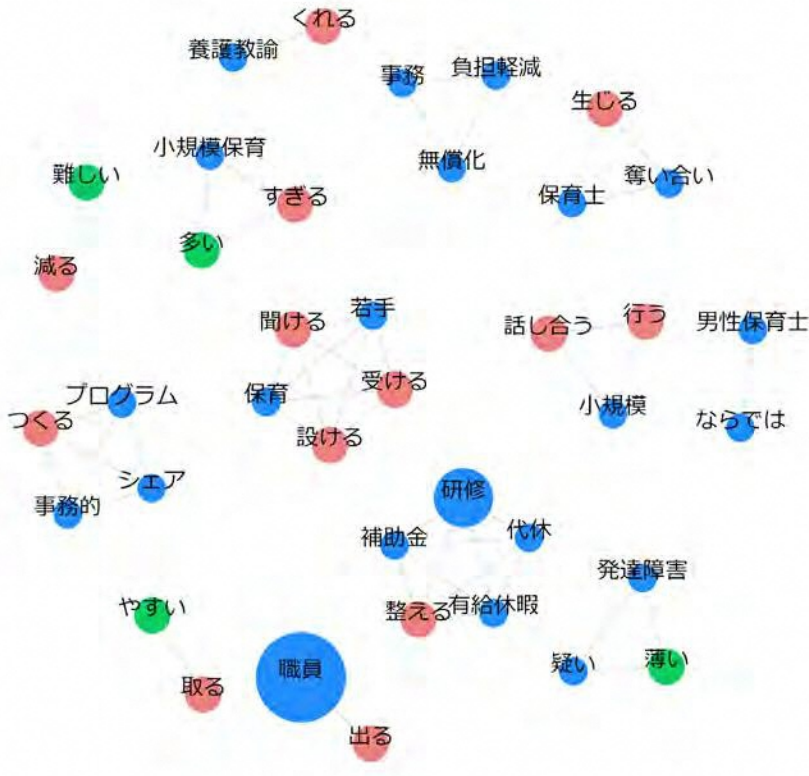


園内で将来的に実現したいこと

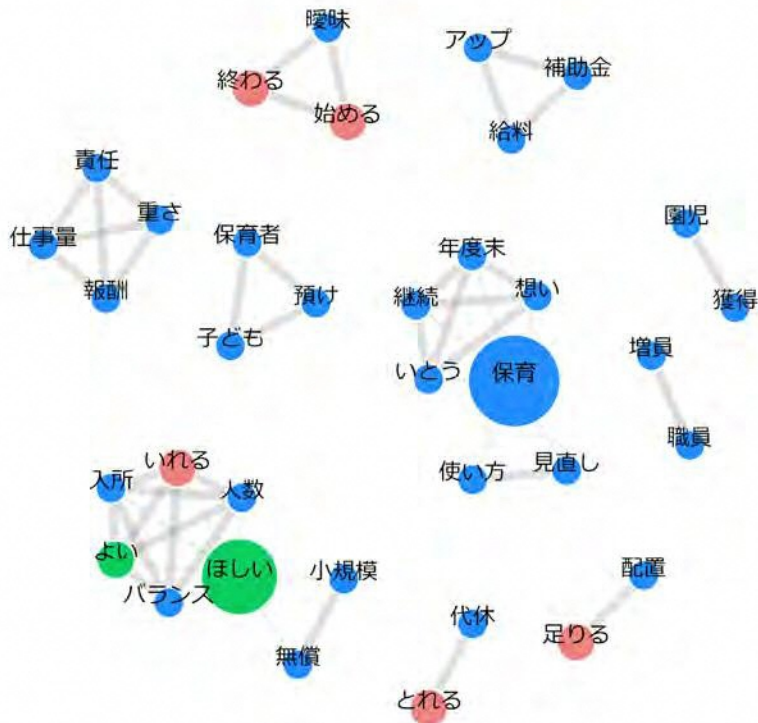


働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● ワークショップ成果物（8）



園外の協力者によって、早く実現してほしいこと



園外の協力者によって、将来的に実現してほしいこと

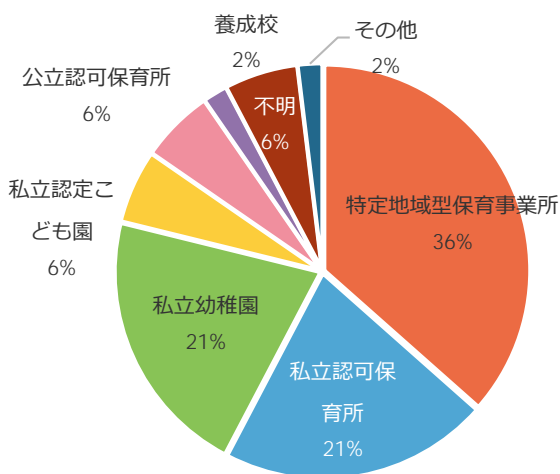
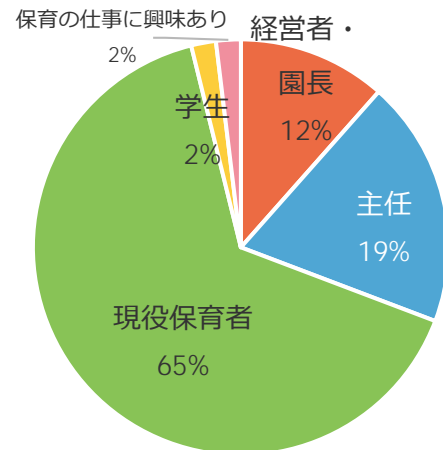
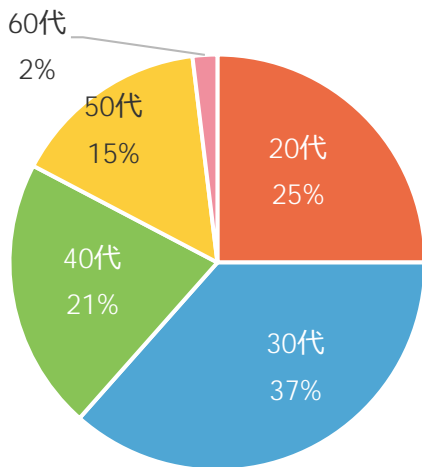
働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

● アンケート集計結果

参加者に用紙にてアンケートを実施したところ、回収率は100%だった。集計結果は以下のとおりである。

1.あてはまる属性をお選びください。

年代	人数	割合	属性				
			園経営者・園長	主任	現役保育者	学生	保育の仕事に興味あり
			12%	19%	65%	2%	2%
20代	13	25%	1		11	1	
30代	19	37%		2	16		1
40代	11	21%	3	3	5		
50代	8	15%	2	5	1		
60代	1	2%			1		
合計	52	100%	6	10	34	1	1

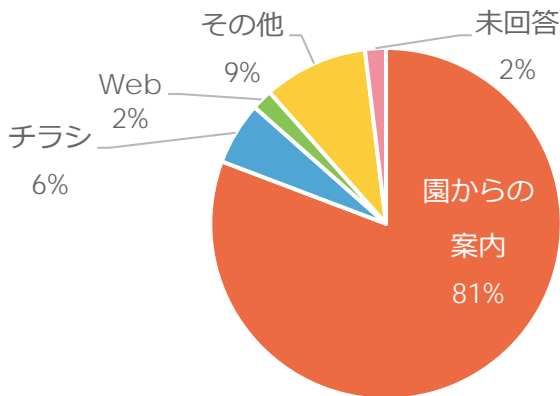


項目	施設数	参加者数	割合
私立幼稚園	9	11	21%
私立認定こども園	3	3	6%
公立認可保育所	2	3	6%
私立認可保育所	8	11	21%
特定地域型保育事業所	17	19	37%
養成校	1	1	2%
不明		3	6%
その他		1	2%
合計	40	52	100%

今回のセミナーの参加者は、30代の現役保育者が最も多かった。施設区分では特定地域型保育事業所が最も多かった。

働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

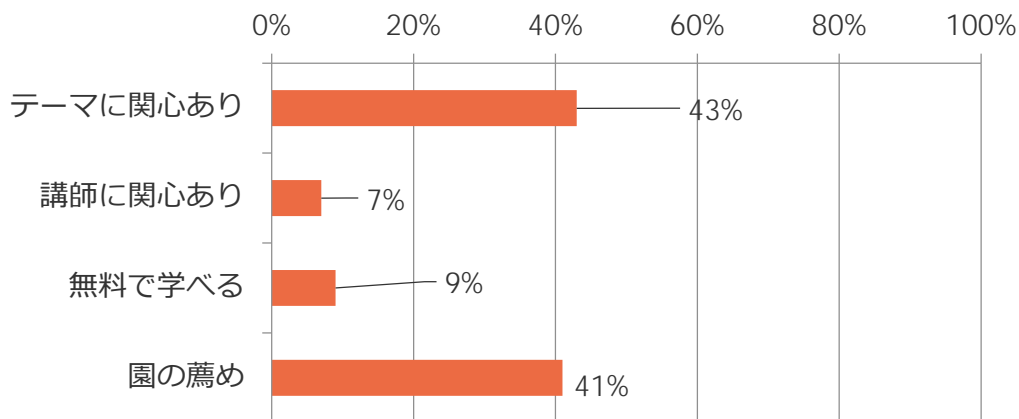
2.本セミナーを何で知りましたか？



項目	人数	割合
園からの案内	42	81%
チラシ	3	6%
Web	1	2%
その他	5	10%
未回答	1	2%
合計	52	100%

セミナーを知ったきっかけは園からの案内が68%と最も多かった。園が本セミナーの趣旨をご理解くださり、職員の参加機会をつくってくれたことがうかがえる。「その他」は、市からの案内（4）、大学教授から（1）だった。

3.本セミナーの参加動機として該当するものはどれですか？（複数回答可）

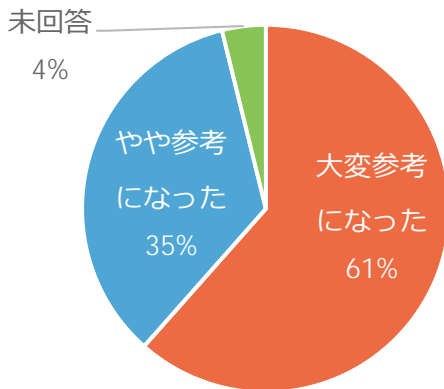


参加動機は、「テーマに関心あり」が43%で最も多かった。続いて、園の薦めでの参加が41%と続いた。

項目	人数	割合
テーマに関心あり	33	43%
講師に関心あり	5	7%
無料	7	9%
園の薦め	31	41%
合計	76	100%

働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

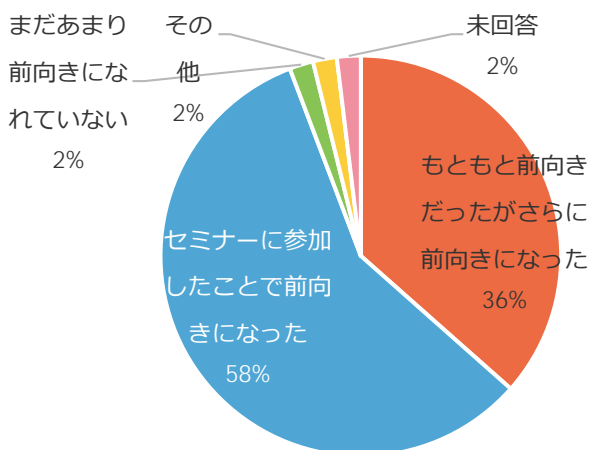
4.本セミナーはいかがでしたか？



項目	人数	割合
大変参考になった	32	62%
やや参考になった	18	35%
未回答	2	4%
合計	52	100%

参加者の約6割が「大変参考になった」と回答した。

5.講演会への参加を通して、職場の環境改善や働き方の改革に前向きになりましたか？

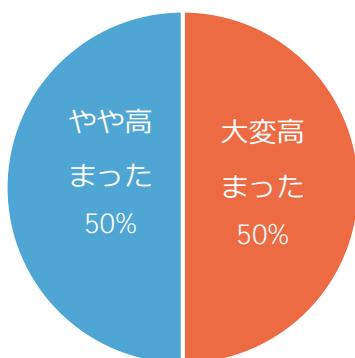


項目	人数	割合
もともと前向きだったがさらに前向きになった	19	37%
セミナーに参加したことで前向きになった	30	58%
まだあまり前向きになれていない	1	2%
その他	1	2%
未回答	1	2%
合計	52	100%

その他のご意見：改善に努めてほしいので、要望を出しても通らないことが多いので、自分の生活に影響がなければ、特に改善を求めない。職場の改善よりも、子どもの事を考えた利用者の働き方、改革を考えていく事が大切かと思っている。（60代現役保育者）

参加者の約6割が「セミナーに参加したことで前向きになった」と回答した。

6.潜在有資格者・学生・保育の仕事に興味がある方に伺います。本セミナーに参加して就労意欲は高まりましたか？



項目	人数	割合
大変高まった	1	50%
やや高まった	1	50%
合計	2	100%

対象者は2名だった。いずれも「就労意欲は高まった」と回答した。

働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

7.黒澤先生の講義において、心に残ったことは何ですか？

45名にコメントをいただいた。以下に、主なコメントをピックアップした。

- 若い職員の悩みが私自身にあたっていて驚いた。(20代保育者)
- 人間関係について...捉え方1つで不安にもなるが前向きにも考えられそう!と思った。また...自然に困まれていることが本当に当たり前すぎてしあわせを忘れていた。今ある周りの環境を大切に保育に生かしたい。(20代保育者)
- カンファレンスポイントを聞いてよかった。園長、主任に話をしようと思う。(20代保育者)
- 人間関係の悩みの部分で、周りからの目線が自身のプレッシャーや不安につながり、離職してしまう保育士が多い点。(20代学生)

- 若い先生、私自身(中堅)と、講義で言っていたポイントを、上の先生方(上司)にも伝わったら...と思った。(30代保育者)
- 保育士確保が難しい今、いかに働きやすく定着してもらえるかが大切だと感じたので、気持ちよく働き続けられるよう整備していきたい。(30代保育者)
- 講義の内容が実際に政策になったりと実現すればいいなと思った。(30代保育者)

- 自分の保育の力量を悩むのは子どもたちの様子だけではなく、保育者同士の目線が多いに関係があり、それにより早期退職などにつながるということ。(40代保育者)
- 子どもたちが自発的な行動が見られなかった場面の話。遊びの始まり、この指とまれではなく、入れていいよ(ルールの中で)が目についた話、保育の中で見直し、心にとめておきたいことだった。(40代保育者)
- 地方都市の保育者は要望をあまり言わないとの事で確かにその文化はあると感じた。声としてあげる事の大切さを知ったので今後は少しずつあげていきたい。(40代保育者)
- 学校で基本的な知識を身につけてきた、若い保育士を続けさせるとか、辞めさせるかは、現場にいる自分達なのだと実感した。良いお話で、等身大で実感する内容でしたので、詳しく聞ける講習の機会をいただきたい。(40代主任)

- 先生のお話を聞くことで自分達の中で当たり前になっていたことが、改善できる点であると気付かされること。(50代主任)

- 子どもの自己肯定感を大切にしながら保育することに重点を置いているからこそ、保育士、職員の自己肯定感を持ちつつ仕事してもらえよう職場にしたいと思った。(50代園長)

働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

8.ワークショップにおいて、どんな気づきがありましたか？

51名にコメントをいただいた。以下に、主なコメントをピックアップした。

- 他園の話を聞くことができ、様々な意見を知り参考になった。園に戻り職員の感じていることを改めて知りたいと思った。（20代園長）
- 他園との情報交換をすることで良いところを見つけたり、マネできることもあったので、ワークショップはとてもいいと思った。（20代保育者）
- 様々な立場で色々な視点があると改めて感じた。驚く事もあったけど、それぞれ受け入れて一緒に考える事が大事。（20代保育者）
- どの園も感じていることがあり、改善したいことも同じだなと思った。独自の意見ですが、他園に比べてやりやすい、働きやすい環境なのかなと他園の話を聞いて感じた。（20代保育者）
- 幼稚園、保育園、小規模園と色々なところで働いている方が多かったが、思う事やあったらいいなと思うところは似ていると感じた。（20代保育者）
- 働きやすい職場にするにはどうしたら良いのかをそれぞれ話し合うことができ、明確にすることができ、すっきりした。今後、出た課題をどう実現させていくかが重要になってくると思う。（20代保育者）
- なるべく園内でかつ実現の可能性のある内容にしばったこと。（20代学生）

- 色々な園の先生方とお話をして、自分の園でできそうな所があった。（30代主任）
- どの保育者さんも穏やかで話しやすい人たちばかりだった。育休・休憩についての悩みがよく出た。（30代保育者）
- 午睡時間に休憩をかねて書き物、作り物をしていたが、しっかりと仕事をしない時間を確保している園もあり、しっかりと確保する必要があると感じた。（30代保育者）
- 園によって大きく違いがあり、話し合いだけでは改善は難しい。（30代保育者）
- 園の先生方との交流は自分の育児と仕事の両立について、前向きになれるいいきっかけになった。（30代保育の仕事に興味がある方）

- 他園の行っているいい事をマネしてみようと思った。（40代保育者）
- 各園、色々な事を聞いてよかった。小規模、幼稚園、保育園とテーブル別けてもよかったと思う。（40代園長）
- 保育士間で良い点を伝え合うのは、とても良いと思った。（40代主任）

- 保育園、小規模園、幼稚園でそれぞれ体制が違い、抱えている問題も違うと思った。有給の取り方を明確にという意見が印象深かった。（50代主任）
- いろいろな園の方との交流ができ、よい機会だと思う。藤枝市として連体感は生まれると思う。いろいろな情報、悩みが共有できた。（50代保育者）
- 学生さんの意見を聞く機会となり（このようなことはなかなかないので）貴重だった。もう少し伺いたかった。（50代園長）

働きやすい職場づくりへの動機づけとなる講演会の開催

9. セミナー全般のご意見・ご感想、今後のセミナー企画のご要望をお聞かせください。

28名にコメントをいただいた。以下に、主なコメントをピックアップした。

- 色々な先生が参加していただけると良い方向に進みそうだなと思った。（20代保育者）
- 情報交換をすることで、新たに自分の課題も見つけることができた。（20代保育者）
- 現場に出ている人だからこそリアルな情報を交換できてよかった。お忙しい中、ありがとうございました。（20代保育者）
- 黒澤先生の間人関係についての話をもっと詳しく聞きたい。（30代主任）
- 参加型のセミナーで、意欲的に取り組めた。ありがとうございました。（30代主任）
- 保育に関するセミナーがたくさんある中、保育士同士が気持ちを言える場、閉鎖的に感じる保育の現場での話を、これからも行っていきたい。今年度でこの取り組みが終わるのは少し残念。（30代保育者）
- 他の園と会話の機会がないので、またこのような機会を作っていただきたい。（30代保育者）
- 話し合いの時間がもう少しほしい。楽しかった。（30代保育者）
- 自分も保育士の資格を取得したら、パートでも事務でも現場で体感したいと思える時間になった。（30代保育の仕事に興味がある方）
- 現場で働く保育士の声に耳を傾けてくださる場があったことに感謝です。こういった場があると同じ保育士として働く人同士共通意識が芽生えたり、市としてのチーム感が高まり良い職場づくり保育の質を高めることにつながると思った。（40代主任）
- 保育の仕事とはきついイメージが多く、独身しかできない仕事とっていたけれど、改善されていけば続けられる希望ができた。（40代保育者）
- 保育観について各園が集まって話し合える場があっても良いと思う。（40代園経営者）
- このような事を、運営経営側の立場の人たちにもきいてほしい。（50代主任）
- 「人材確保」や「働く場所」（契約）など、ポイントを決めて、深めた議論ができたと思う。（50代主任）
- 求めるものが各自違うため、テーマがはっきりしていないと参加しても参考になるだけになってしまう。例えば、子どもへの保育の事、労働条件の事（休憩時間含め）、人間関係など、分野を提示されるのが良いかと思った。（60代保育者）